

集中豪雨やゲリラ豪雨時に、アンダーパスやトンネル等、溢水が集中する場所で発生する道路冠水の状況を常時監視し、警報表示盤等で現場通行車両等に注意喚起すると共に、監視場所に冠水状況を早期に伝送し、2次災害の拡大を防ぎます。



特長

- 水位計の二重化により誤動作・誤表示を防ぎ、迅速確実に通行車両等に対し、冠水状況を通報します。
- 観測局の測定・動作状況は、監視局（役所担当部課等）に伝送され、現在状態を常時確認できます。
- 警報値に達した場合には、予め設定した宛先に警報メールの伝送が可能です。
- 監視カメラを併設することにより、緊急確認時に監視局から現場の警報表示盤等の動作制御が可能です。
- デジタルMCAを使用した場合、通信コストは毎月1局あたり¥525と驚異的な低価格を実現しました。

システム構成例

